

式 辞

如来様のみ光に包まれて相愛高等学校の学窓を巣立つ 107 名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

本日は、浄土真宗本願寺派本多総務様、津村別院管輪番様、龍谷総合学園安井常務理事様をはじめ多数のご来賓の皆様、併せて保護者会である育友会、後援会、敬愛会、そして同窓会の会長の皆様をはじめ本校にご縁の深い方々のご臨席を賜り、平成 24 年度の卒業式を挙行できますことは、誇らしく、大きな喜びであります。

さて、皆さんが相愛高校の門をくぐってから、はや 3 年の歳月が過ぎました。皆さんの顔には生き生きとした表情に加えて、自信にあふれる顔が見てとれます。みなさんがのびのびと、そして精一杯努力されたことの何よりのあかしであると思います。

ところで、私たちは得てして自己には優しく、他者には怒りや恨みや嫉みを抱きがちであります。今後ますます社会が国際化し、ものの考え方や行動が多様化するなかで、こうした自己中心的な心を抑制しなければなりません。それは難しいことかもしれませんが、作家の司馬遼太郎さんは、小学校の 6 年生の国語の教科書のために書き下ろした「21 世紀に生きる君たちへ」のなかで、「人間は自分

で生きているのではなく、大きな存在によって生かされている」とへりくだって考えることが、21世紀への希望であると述べておられます。先の大震災事故に象徴されるように、科学と技術が高度化する反面、人間がそれに呑み込まれる危険性をはらんだ現代社会にあって、皆さんには自然と生命への畏敬の念を持ち、優しい心を持っていただきたいと思います。優しい心とは、詰まるところ優しい言葉にほかなりません。

皆さんが相愛学園で慣れ親しんできた『日々の糧』の24日朝の言葉に、

一つ言葉で 喧嘩して

一つ言葉で 仲なおり

一つ言葉で ほめられて

一つ言葉で 泣かされた

一つ言葉は それぞれに

一つの心をもっている

とあったのをご存じですね。一般に、歳を重ねると豊かな経験を積み、沈着冷静に物事に対応できると思われがちですが、私はいまだに経験が生かされず、相手の言葉に腹を立て、売り言葉に買い言葉で喧嘩になり、後から後悔することがあります。悲しいことに、もっとも愛し合っており、毎日顔を合わせ、食事をし合っている家族

の間に言葉の喧嘩が起り易いといえましょう。また、中学生や高校生頃は、ややもすると自己主張が表に出やすく、いさかいが生じます。仲直りしなければならないと思うのですが、なかなか素直になれないこともあります。

喧嘩をした時は、自分を正当化します。自分の味方になってくれそうな人を見つけては、けんか相手の非をこんこんと言いつけます。一時的には、それで気持ちもおさまるように思いますが、根本的な解決には至りません。

そんな時、実は相手が一方的に悪かったのではなく、自分にも配慮に欠ける場所があったのではないかと反省してみることが大切だと思います。お互いに意地を張っていたのでは解決できません。その窮地を開くのは、やはり優しい心のこもった言葉ではないでしょうか。

優しい心のこもった言葉は人の心を温め、豊かにし、元気にしてくれます。それは言葉のいのちが人に生きる力を注いでくれているからです。

法輪の中に刻まれている「南無阿弥陀仏」とは、お念仏として言葉になってくださった仏さまです。お念仏は仏さまのいのちです。仏さまのいのちには智慧のはたらきとお慈悲のこころが満ちあふれています。お念仏を称えさせていただくことは、この私が仏さまの

物事を正しく見る力と温かい心、すなわち「智慧と慈悲」をこの身に受け取り生きていくことです。

卒業生の皆さんには今後も相愛生として、日々の糧が身に染みこんだ女性として、身近な人の言葉のいのちからも勇気をもらいながら、人々にみ仏の智慧とお慈悲を伝えていただきたいと願っています。心に響くいのちを受け取り共に歩みましょう。

卒業生の皆さんはご卒業後、それぞれの人生を歩んでいくと思います。歩む方向にそれぞれ違いがあろうとも、相愛生として、常に感謝の気持ちを持ち、知恵を磨き、地域文化を理解し、自分の目標や夢に向かって全力で突き進んでいきましょう。夢や希望はその大きさや内容で左右されるものではありません。夢や希望を持ち続けることが大切なのです。そして、心豊かな人生と同時に、それぞれの地域を支える人になってくれることを期待しています。

4月からは大学生、専門学校生または来年自身の目的のためにチャレンジする卒業生がおられますが、高校よりより一歩踏み込んだ勉強や研究が待っています。いろいろなことに挑戦していくなかで、自分が好きで打ち込めるもの、自分の夢や希望を探してほしいと思います。

次に、在校生を代表して卒業式に出席している高校2年生の皆さん、今、しっかりとバトンを受け継ぎましたか。相愛で学ぶ仲間、

同行のみんなが、楽しく学校生活を送るため、自分たちに何ができるのか、何をやらなければならないのかをよく考えて実行してください。

最後になりましたが、保護者の皆様、ご息女のご卒業おめでとうございます。ご息女のこの健やかでりりしく立派に成長された姿をご覧になられ、いかばかりかお慶びのことでありましょう。入学して3年間の高校生活、慈しまれた日々の思い出で感慨深いことと存じます。心よりお祝い申し上げます。併せて、これまでの皆様の温かいご支援とご協力に、心から厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さん、もう一度、心を込めて、ご卒業おめでとう。

卒業、それは、始まりのときでもあります。皆さん、胸を張り、背を伸ばして、前へ前へと進んで、自分らしい人生を創り出しましょう。

皆さんの将来、未来に、幸多かれと心から念じ申し上げながら、式辞といたします。

平成25年2月21日

相愛学園理事長

相愛高等学校 校長 金児曉嗣